KIORITZ

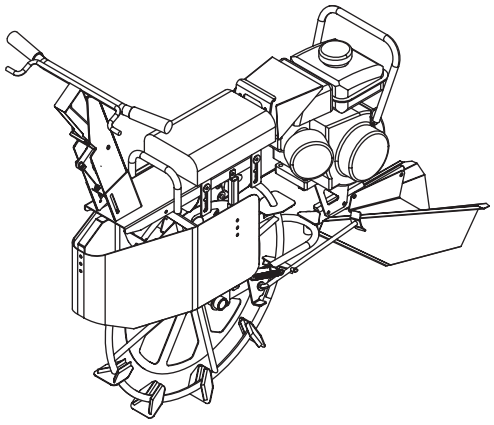
共立水田乗用溝切機

取 扱 説 明 書

型　式

MKS980R

MKS980R-Y



見出し	ページ
重要なお知らせ	2
⚠ 安全にご使用いただくために	3～8
1．梱包部品一覧	9
2．各部の名称と機能	10
3．作業前の準備	11
4．エンジンの運転	12
5．移動・走行	12～14
6．溝切作業	15～18
7．点検・整備	19～21
8．仕様	22
索　引	23

⚠ 警　告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

重要なお知らせ

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください。

●製品の使用目的
- この製品は４サイクルエンジン水田乗用溝切機です。水田の溝切作業に使用してください。
- 目的以外に使用してはいけません。

●製品の使用者について
- この製品は取扱説明書をよく読んで充分に熟知した人が使用してください。
- 取扱説明書をよく読んでいない人、風邪や疲労など体調のよくない人、１６歳未満の人は製品を使用しないでください。

●取扱説明書について
- 本書には、製品の組立や操作、整備に必要な事項が書かれています。よく読んで理解してください。
- 本書はいつでも読めるように必ず保管してください。
- 本書が損傷により読めなくなったり、紛失した場合は、販売店から新しく取扱説明書を購入してください。
- 単位はＳＩ単位（国際単位系）を使用しています。（　）内は参考値ですので若干の換算誤差がある場合もあります。

●製品の貸与、譲渡
- 本書で解説している製品を貸与する場合、借りて作業をする人に、この取扱説明書とともに製品を貸与してください。製品を譲渡される場合は、本書を製品に添付してお渡しください。

●保証書
- この製品には保証書が同梱されています。
- 使用目的以外の作業による製品の故障、あるいは改造による故障の場合は、保証の対象外になりますのでご注意ください。
- 詳しくは保証書をお読みください。

●お問い合わせ先
- この製品についての内容や消耗品のご購入、修理などのご用命はお買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。

●おことわり
- 本書の内容は、製品の改良のため予告なしに変更することがあります。また、使用している図は説明をわかりやすくするため、現品と異なる場合があります。
- 本製品は一部部品の組立作業が必要となります。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら販売店にご相談ください。

●製品の特徴
- この製品は水田の溝切作業を乗用で迅速にできます。
- 圃場での方向転換も前輪を支点に容易にできます。

目　　次

⚠安全にご使用いただくために 3
■警告表示 3
■その他の表示 3
■シンボルマーク 3
■警告表示ラベルの貼付け位置 4
■一般的なご注意 5
■燃料およびエンジン取扱い上のご注意 6
■製品取扱い上のご注意 7
１．梱包部品一覧 9
２．各部の名称と機能 10
３．作業前の準備 11
3-1　組立 11
3-2　燃料の補給 11
４．エンジンの運転 12
５．移動・走行 12
5-1　輸送・移動 12
5-2　走行 13
６．溝切作業 15
6-1　作業前の準備 15
6-2　調整 16
6-3　溝切作業 18
７．点検・整備 19
7-1　点検・整備の目安 19
7-2　点検・整備要領 19
7-3　故障診断表 20
7-4　長期保管（３０日以上） 21
８．仕様 22
索　引 23

⚠ 安全にご使用いただくために

製品をご使用になる前に、この章を必ずお読みください。

■警告表示

本書や製品では作業者などが人身事故を負う危険性のある事柄を、下記の警告表示で示しています。安全作業のためによく読んで、必ず守ってください。

⚠ 危　険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものです。

⚠ 警　告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるものです。

⚠ 注　意

その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものです。

■その他の表示

本書では警告表示以外に下記の表示を使って説明しています。

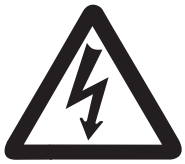
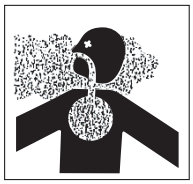
丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものが全て禁止されていることを表わします。

重　要

重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている製品の使用、点検、保守、保管に関する重要な注意事項です。

■シンボルマーク

本書と製品ではシンボルマークを使って説明しています。各シンボルマークの意味を充分に理解してください。

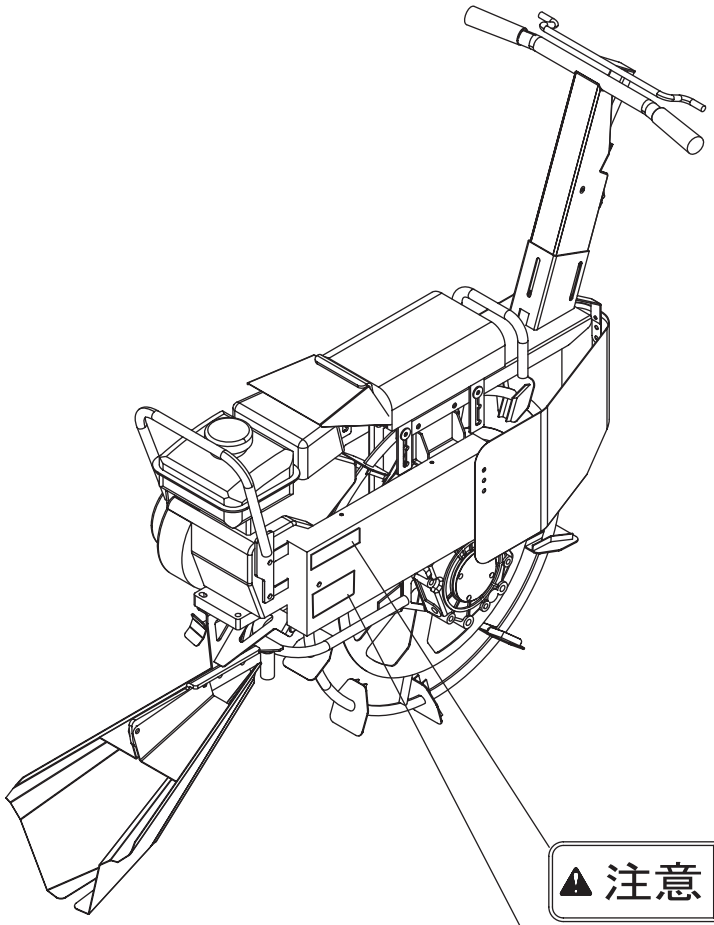
シンボルマーク	シンボルマークの意味	シンボルマーク	シンボルマークの意味
	ご使用前に取扱説明書を読み、正しく作業すること。		電気ショックに注意すること。
	作業中は、保護具を必ず着用すること。		挟まれに注意すること。
	製品を通気の悪い場所では使用しないこと。		高温部に注意すること。
	火災に注意すること。		

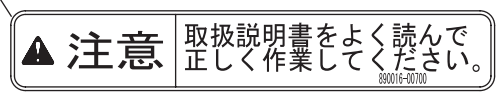
⚠ 安全にご使用いただくために

■警告表示ラベルの貼付け位置

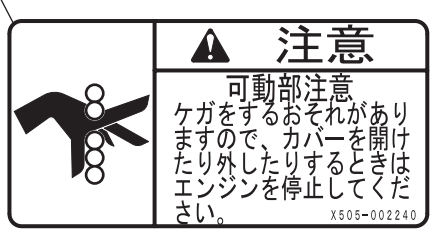
・本書で解説されている製品には、下図の「警告表示」のラベルが貼ってあります。ご使用前にラベルの意味を理解してください。

・ラベルが摩滅したり破損して内容が確認できなくなった場合や、はがれて紛失した場合は、販売店から新しくラベルを購入し、下図に指示してある箇所に貼り、常にラベルが確認できる状態を維持してください。





部品番号 ： 890016-00700



部品番号 ： X505-002240

⚠ 安全にご使用いただくために

・ここに記載されている「注意事項」は、安全に関する重要な項目です。必ず守ってください。
・本文の中にも重要な「注意事項」を記載していますので、必ずお読みください。
☆印に続く文章は、「注意事項」を守らないと起こり得る結果を示しています。

■一般的なご注意

⚠ 警　告

●取扱説明書

・ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
☆事故や重傷を負う原因となります。



●製品の使用目的以外の使用禁止

・製品を取扱説明書に記載されている使用目的以外の用途に使用してはいけません。
☆事故や重傷を負う原因となります。

●製品の使用者

次の項目に該当する人は製品を使用しないでください。
・疲労している人
・酒を飲んでいる人
・薬物を服用している人
・妊娠している人
・体調不良の人
・取扱説明書を読んでいない人
・１６歳未満の人
☆事故の原因となります。



●製品の改造禁止

・製品を改造してはいけません。
☆事故や重傷を負う原因となります。
製品の改造が原因で故障した場合は、メーカー保証の対象外となります。

●点検・整備をしていない製品の使用禁止

・点検・整備をしていない製品を使用してはいけません。定期的な点検・整備を必ず行なってください。
☆事故や重傷を負う原因となります。

●製品の貸与、譲渡

・製品を貸すときは借りる人に、取扱説明書と共に製品を貸してください。
・製品を譲る場合は取扱説明書を添付して製品を渡してください。
☆事故や重傷を負う原因となります。

●製品の使用環境・作業環境

・急傾斜地や雨上がりなどの足元が不安定な場所では滑りやすく危険なので、製品を使用しないでください。
・夜間や視界が悪く暗い場所などでは製品を操作しないでください。
☆転倒や滑落、誤った操作などにより重傷を負う原因となります。

●点検・整備は運転を停止して

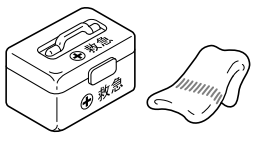
・製品を点検整備するときは、必ず運転を停止し、製品が冷えた状態になってから行なってください。
☆事故や重傷を負う原因となります。

●健康管理

・健康管理のために、休憩を取りながら余裕を持って作業してください。
・長時間の連続作業は避け、２時間を限度としてください。
☆健康障害を受ける恐れがあります。

●ケガへの備え

万一の事故やケガへの準備をしてください。
・救急箱（応急手当用）
・タオルやてぬぐい（止血用）
・呼子や携帯電話（外部との連絡用）
☆緊急の応急手当や外部への連絡ができず、症状が悪化する恐れがあります。





⚠ 安全にご使用いただくために

■燃料およびエンジン取扱い上のご注意

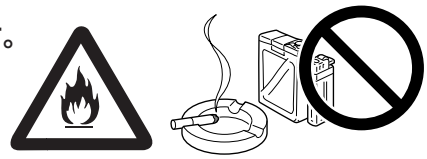
⚠ 危　険

●燃料給油時は火気厳禁

燃料は非常に引火しやすいので、取扱いを誤ると火災の危険があります。次の項目を必ず守ってください。

- **燃料給油中にタバコを吸ったり、火花を近づけない**
- **エンジンが熱いときやエンジン運転中は、燃料補給をしない**

☆燃料に引火して火災を起こしたり、火傷を負うことになります。



⚠ 警　告

● こぼれた燃料は火災の原因

燃料給油時はこぼれないように注意し、次の項目を守ってください。
（燃料タンクの口元まで給油しないでください）

- **燃料がこぼれた場合はこぼれた燃料を拭き取る**
- **燃料を給油した後は燃料タンクのふたを確実に締付ける**

☆こぼれた燃料に引火して火災や火傷の原因となります。



● 燃料漏れは火災の原因

- **作業前や作業後に、必ず燃料タンクや燃料ホースから燃料の漏れやにじみがないかを確認してください。**
- **燃料の漏れ、にじみがある場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。**

☆燃料漏れがあった場合、火災の原因となります。



●エンジン始動時

エンジンを始動するときは、特に次の項目を守ってください。

- **ボルトやナット類にゆるみがないことを確認**
- **燃料が漏れていないか確認**
- **製品を平坦で通気のよい場所に置く**
- **周囲は広くとり、人や動物を近づけない**
- **ごみ、空きカンなどの障害物は取除く**
- **走行レバーが停止位置にあることを確認**

☆始動前の注意を怠ると、事故や重傷を負う原因となります。

●始動後は異常振動・異常音の確認

- **エンジンを始動したら、異常振動･異常音が発生していないか確認してください。**
  異常振動･異常音がある場合は製品を使用してはいけません。販売店に修理を依頼してください。

☆部品の脱落、飛散などの事故により、重傷を負う原因となります。

●排気ガスは有毒

- **エンジンの排気ガスには、有毒なガスが含まれています。**
- **屋内など通気の悪い場所で製品を運転しないでください。**

☆排気ガスによる中毒事故の原因となります。



●点検・整備時はエンジン停止

作業後に製品の点検･整備を行なう場合は次の項目を守ってください。

- **エンジンを停止し、エンジンが冷えてから点検・整備**

☆火傷を負う原因となります。



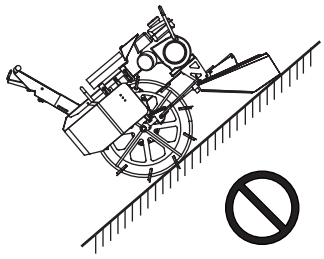
⚠ 安全にご使用いただくために

■製品取扱い上のご注意

⚠ 危　険

急停止や下り坂の走行はしないでください。

☆転倒により、事故や死亡または重傷を負うことになります。



⚠ 警　告

●保護具の着用

作業を行なう場合は、必ず下記の保護具を着用してください。



- **作業帽**
- **耳栓**
- **作業用手袋**
- **身体に合った作業衣（長袖・長ズボン）**
- **作業長靴**

☆聴覚障害、重傷などを負う原因となります。

●製品使用時

製品を使用するときは、特に次の項目を守ってください。

- **一般道路を走行しない**
- **荷物をのせて走行しない**
- **作業場所に、作業に関係のない人や動物を近づかせない**
- **足場の悪い場所では製品を使わない**
- **製品操作は、バランスを失わないように注意**
- **よそ見をしない**
- **ハンドルをしっかり握る**
- **夜遅くまたは朝早く近隣の人に騒音で迷惑をかけるときは、製品の使用を避ける**

☆事故や傷害の原因となります。

●製品は常に正立状態で使用

- **製品は水平に立てた状態で使用するよう設計されています。使用時および移動時に、横にしたり極端に傾けたりしないでください。**

☆燃料漏れやオイル漏れの原因となります。

●鋭角部に注意

- **本製品は構造上、プラウ、車輪、ラグ、スタンド等に鋭角部があります。点検・整備、積込作業時は不用意に鋭角部に触れないよう気をつけてください。**

☆接触により、傷害を負う原因となります。

●異常時は直ちにエンジン停止

- **作業中に製品が突然異常な音を発したり、異常な振動をした場合は、直ちにエンジンを停止してください。**
  異常振動･異常音がある場合は製品を使用してはいけません。販売店に修理を依頼してください。

☆故障した製品をそのまま使用すると、事故や傷害の原因となります。

●運転中は高温部、高電圧部に接触禁止

製品の運転中および停止後しばらくの間は、次の高温部や高電圧部に触らないでください。



- **マフラやシリンダなどの高温部**

☆高温部に触れると火傷します。



- **スパークプラグ、プラグコードなどの高電圧部**

☆運転中に高電圧部に触れると感電します。

⚠ 安全にご使用いただくために

■製品取扱い上のご注意

⚠ 警　告

●走行時

走行するときは､特に次の項目を守ってください。

- **走行レバーの急激な操作は行なわない**
- **水田以外の走行は乗車しない**

☆事故や傷害の原因となります。

●停車時

停車するときは､特に次の項目を守ってください。

- **不安定な場所や転倒の恐れがある傾斜地に置かない**
- **製品から離れるときは、エンジンを停止する**

☆事故や傷害の原因となります。

●輸送・移動時

- **製品を輸送･移動するときは､正立状態で動かないようにしっかり固定してください。**

☆エンジンの燃料タンク､キャブレタから燃料が漏れ、火災の原因となります。

●点検・整備時は平坦な場所で

製品の点検･整備を行なう場合は、特に次の項目を守ってください。

- **平坦な場所に置き、スタンドを立てる**
- **軟弱地や傾斜地では行なわない**

☆転倒により、傷害を負う原因となります。

●製品の保管場所

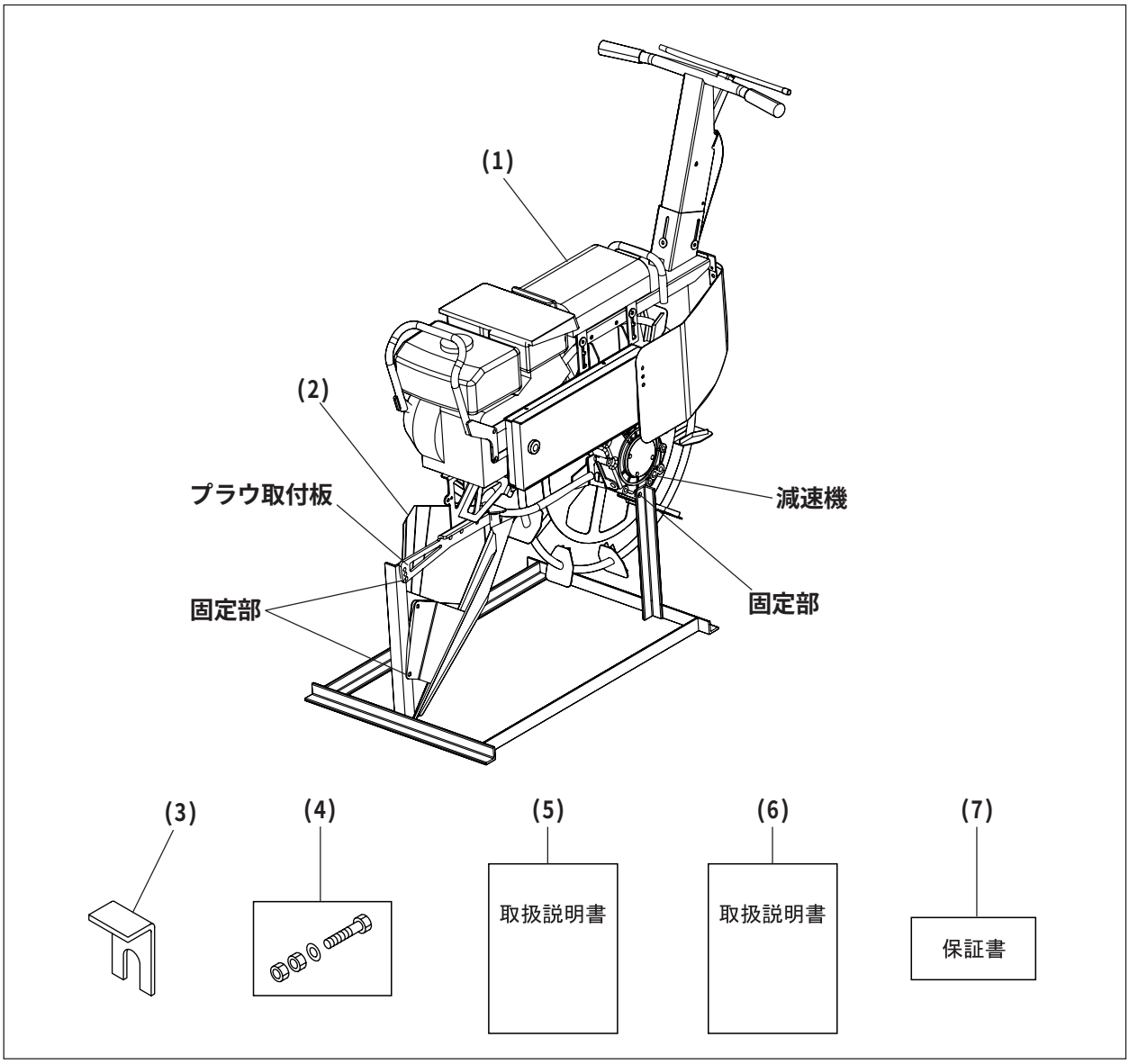
- **燃料ガスが充満している密閉された場所や、裸火、火花のある場所に製品を保管しないでください。**
- **必ず正立状態で保管してください。**

☆火災の原因となります。



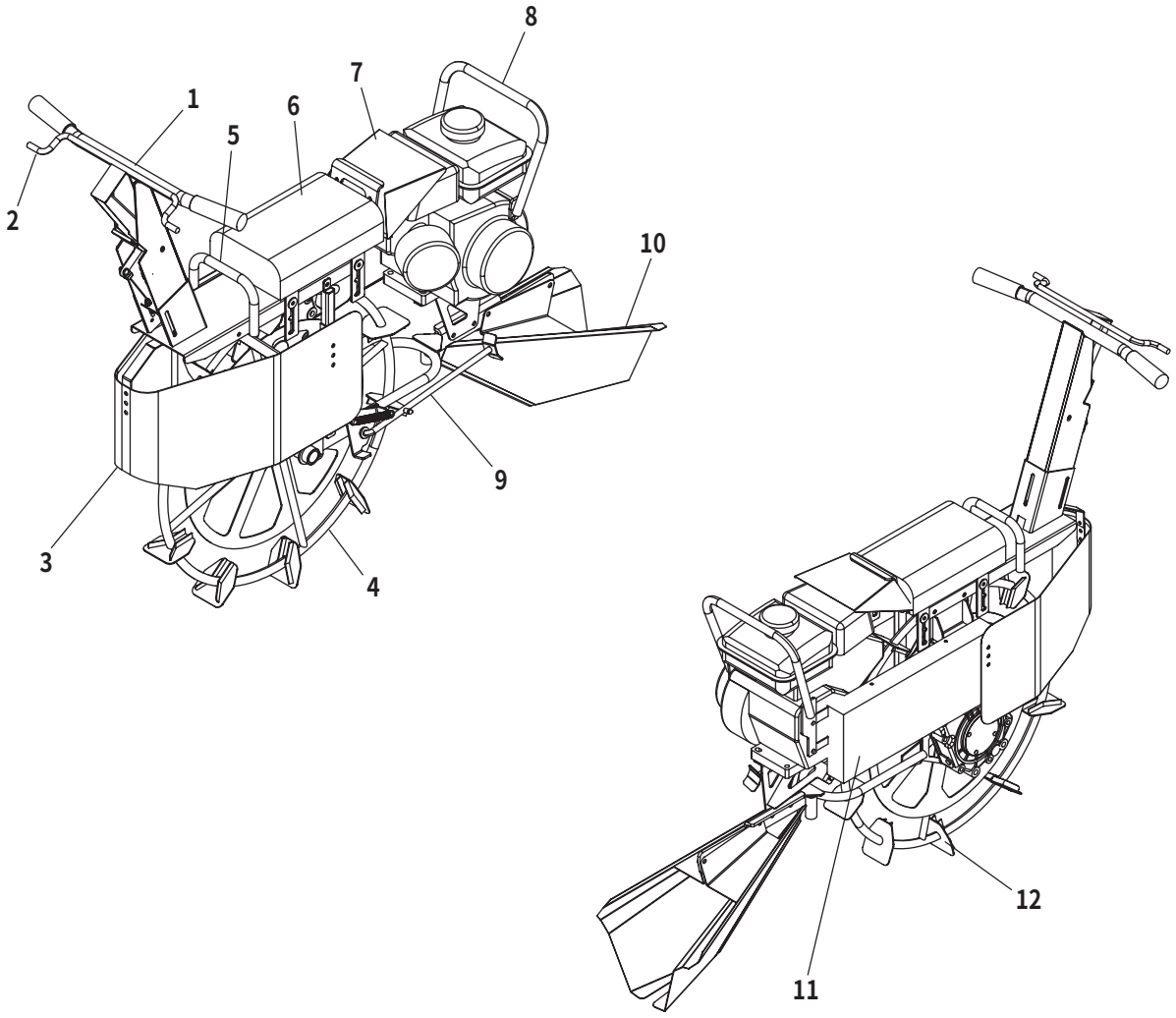
１．梱包部品一覧

・梱包の中には、下記部品が分かれて梱包されています。
・鉄枠に減速機、プラウ取付板およびプラウがボルト、ナットで固定されていますので、それぞれ取外します。
　プラウとプラウ取付板を固定しているボルト、ナットはプラウの取付に使用します。
　減速機固定ボルト、ナットは使用しません。
・梱包を解きましたら、部品を確認してください。
・欠品や破損などがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。



番号	名　　称	個数
(1)	本体	1
(2)	プラウ	1
(3)	スペーサ	4
(4)	車軸ピン（予備セット）	1
(5)	取扱説明書	1
(6)	取扱説明書（エンジン）	1
(7)	保証書	1

２．各部の名称と機能



番号	名　　称	機　　能
1	ハンドル	作業時に本体を支えます。
2	走行レバー	走行、停止および速度を調整します。
3	分草板	車輪に稲が絡まることを防止します。
4	車輪	走行用の駆動力を伝えます。
5	前ハンドル	本体を持上げるときに使用します。
6	シート	走行時の座席です。
7	エンジンカバー	エンジンの熱から作業者を保護します。
8	後ハンドル	旋回時や本体を持上げるときに使用します。
9	スタンド	輸送時や保管時等、本体を正立させるときに使用します。
10	プラウ	溝を切るためのものです。
11	ベルトケースカバー	ベルト、プーリのカバーです。
12	車輪ラグ	走行用の駆動力を作ります。

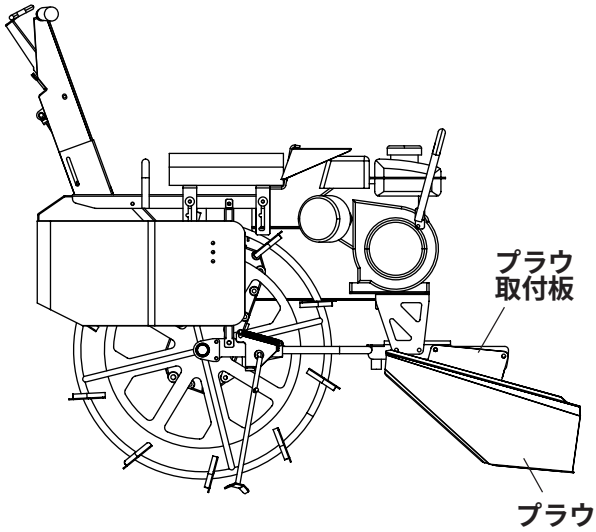
３．作業前の準備

３－１　組立

⚠ 警　告

取扱説明書をよく読んで、正しく組立ててください。
☆誤って組立てた製品を使用すると、重傷事故を起こす原因となります。





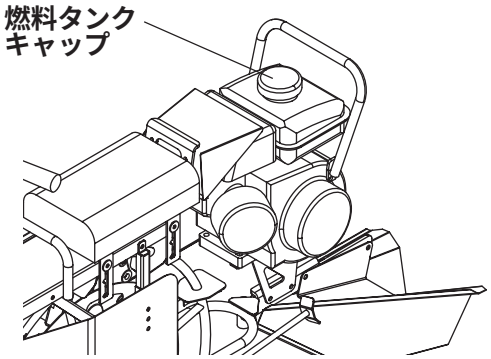
・プラウをプラウ取付板にボルト、ナットで組付けます。

３－２　燃料の補給

⚠ 危　険

燃料は非常に引火しやすいので、取扱いを誤ると火災の危険があります。
エンジンの取扱説明書をよく読み、必ず守ってください。
・ 燃料は引火しやすいので、取扱いは火災に充分注意してください。
燃料補給中にタバコを吸ったり、裸火を近づけたりしてはいけません。
・ エンジンが熱いときや、エンジンを運転したまま燃料補給をしてはいけません。
☆燃料に引火して、火傷や火災を起こすことになります。





・燃料タンクキャップを緩め補給します。

４．エンジンの運転

⚠ 警　告

エンジンを始動するときは、本書の「安全にご使用いただくために」(6ページ）記載の「注意事項」を守って正しく操作してください。
☆「注意事項」を守らないと、死亡を含む傷害や事故を負う原因となります。

重　要

- エンジンを始動する前に、必ず走行レバーが停止位置にあることを確認してください。
- スタータグリップを引くときは、まず軽く引出し更に素早く引いてください。引きヒモの２／３以上は引出さないでください。
- スタータグリップを戻すときは、途中で手から離さないでください。
- エンジンの始動、運転、停止は同梱のエンジン取扱説明書を、よく読んで行なってください。
- エンジンの始動は本機から降りて、本機後方より後ハンドルを押さえて始動します。

５．移動・走行

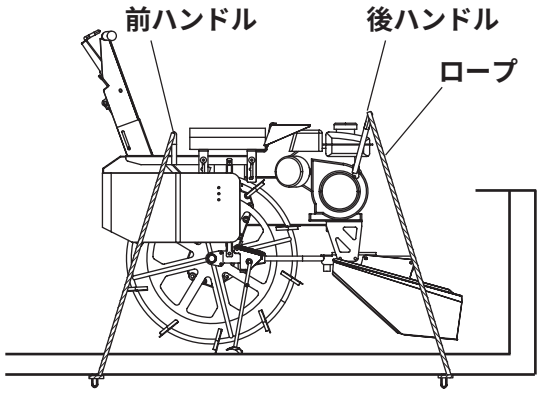
５－１　輸送・移動

⚠ 警　告

製品を輸送・移動するときは、必ず正立状態にて前・後ハンドルにロープなどを掛け固定してください。
☆エンジンの燃料タンク、キャブレタから燃料が漏れ、火災の原因となります。

重　要

プラウ、プラウ取付部、および車輪ラグの変形に注意して固定してください。



製品を移動するときやトラックなどで輸送するときには、次の項目を守ってください。
・製品の荷重に耐えられる輸送機を使用してください。
・製品のエンジンを停止してください。
・燃料をカラにしてください。
・ハンドルにはロープを掛けないでください。

積み降ろし時の注意
製品をトラックに積み降ろしするときは、腰などの身体をいためないように充分注意して作業してください。

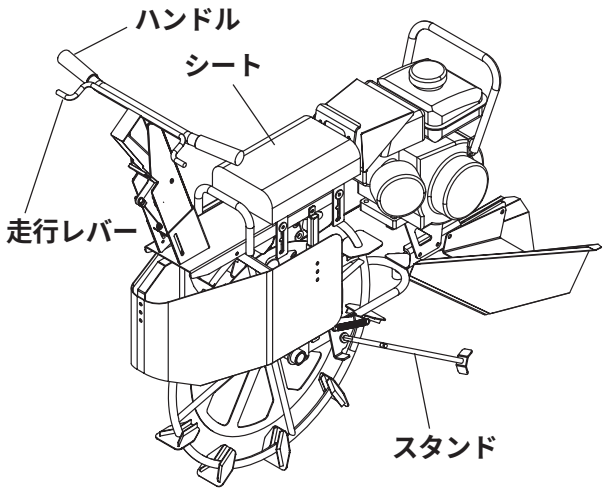
5．移動・走行

5 - 2　走行

■ 走行

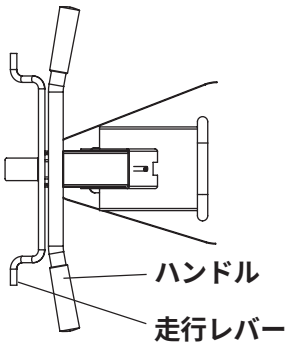
⚠ 危　険

走行レバーは急激に操作しないでください。
☆前方への転倒により、事故や死亡または重傷を負うことになります。

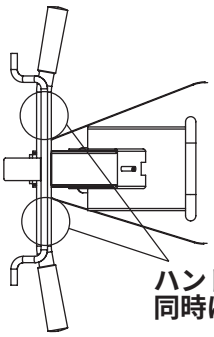


1．シートにまたがり、スタンドを上げます。
2．ハンドルを両手で握り、走行レバーを徐々に引きます。
3．走行レバーで希望の速度に調整します。
4．停止するときは走行レバーをゆっくり戻します。

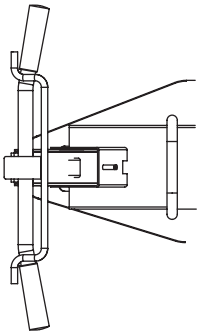
■ 走行レバー位置



・停止位置



・低速移動位置
旋回時や畦の移動（乗車しない）のとき、暴走を防ぎ安全な作業ができます。

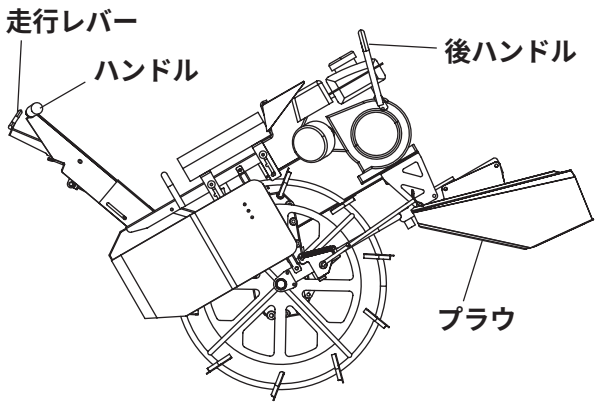


・高速走行位置

５．移動・走行

５－２　走行（続き）

■ 旋回



1．シートから旋回方向に降ります。
2．後ハンドルでプラウを持ち上げます。
3．ハンドル、走行レバーを同時に握り、車輪の回転を利用して本体を旋回します。

※　作業者は本体前方寄りに立つと､旋回を容易に行なうことができます。

６．溝切作業

６－１　作業前の準備

■ 圃場準備

⚠ 注　意

本製品は、極端な湿田や乾田など条件の合わない圃場では使用できません。

本製品を使用して溝切作業を行なうためには、作業に適した圃場の条件を整えることが必要です。
- 田植え前に圃場ができるだけ平らになるように耕耘作業を行なってください。
- 溝切作業の前には、土の表面に小さくヒビが入る程度に圃場を乾かしてください。
- 溝切作業の直前に必ず走り水を入れて作業を行なってください。
- 溝切作業後は、すみやかに落水して、中干しをしてください。

■ 作業の服装

⚠ 警　告

身体に合った作業衣を着用してください。体が露出しないようにしてボタン、ファスナを安全にして作業衣のすそはズボンの中に入れ、すそじまりをよくしてください。



■ 運搬方法

⚠ 警　告

- **乗車しての運搬、移動は行なわないでください。**
- **水田内での溝切作業以外では乗車しないでください。**

⚠ 注　意

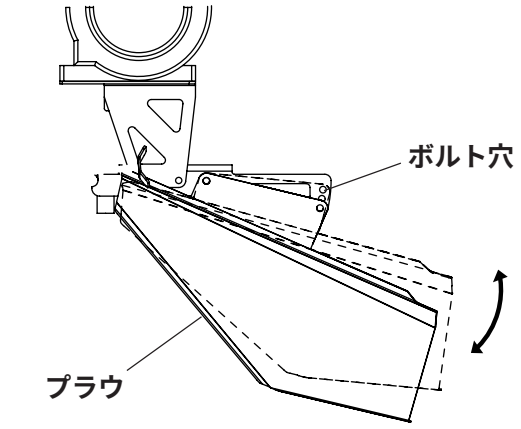
コンクリート、アスファルト、固い土の上は本体を持ち上げて運搬してください。

- スタンドを後方へはね上げてください。
- 畦や軟らかい土の上では、後ハンドルによりプラウを持ち上げ押すか低速で移動してください。
- 圃場への出し入れは降車して行なってください。

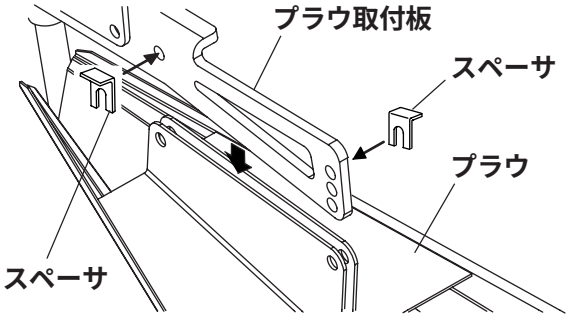
６．溝切作業

６－２　調整

■ プラウの調整



1．溝の深さの調整はプラウ取付ボルトを緩め、プラウの角度を調整してください。
※プラウを立てた状態から徐々にねかせる方向で調整します。



2．進行方向の調整（左または右に曲がる場合）
スペーサをプラウ、プラウ取付板の間に組込み調整します。
左に曲がるときは、左図の位置に組込み、右に曲がるときは反対側に組込みます。
曲がる程度により枚数を調整してください。

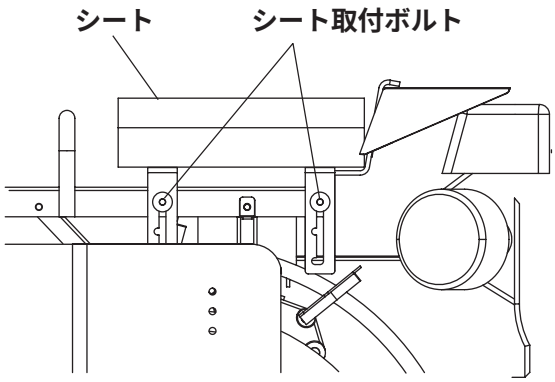
６．溝切作業

６－２　調整（続き）

⚠ 警　告

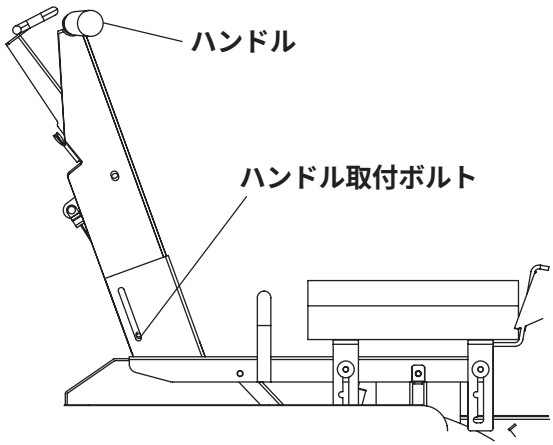
シート、ハンドル高さの調整を正しく行ない、シートに正しく乗車し、両手でハンドルを持ち作業してください。
☆転倒により、傷害を負う原因となります。

■ シートの高さ調整



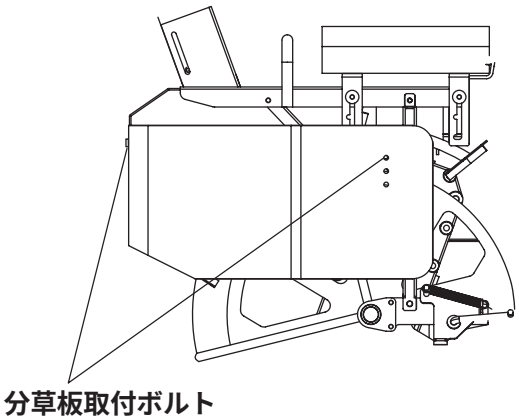
・作業者の体型に合わせて、シート取付ボルトを緩めて調整してください。３段階の調整ができます。

■ ハンドルの高さ調整



・作業者の体型に合わせて、ハンドル取付ボルトを緩め調整してください。

■ 分草板の調整



・分草板取付ボルトを取外し調整してください。

６．溝切作業

６－３　溝切作業

■ 操作

⚠ 警　告

- 二人乗りや本機の改造はしないでください。
- 夜間や、視界が悪く暗い場所では、機械を操作しないでください。雨降り、雨上がり、強風のときも使用しないでください。
- 走行速度を急に上げると、前後左右へのバランスをくずし転倒する危険があります。徐々にエンジン回転をあげてスタートしてください。
- 無理に本機を傾けたり、足で抵抗をかけて進行方向を修正しようとするとバランスをくずし転倒する危険があります。進行方向がずれてきた場合は、いったん停止し、本機を進みたい方向にむけなおし、作業を再開してください。

⚠ 注　意

一つの圃場の中でも、一部深く沈みこむ場所など着座して作業ができない場所では、すみやかに本機から降りて歩行して作業をし、深く沈みこまない場所になったことを確認して、あらためて着座して作業を開始してください。

1. エンジン始動後、走行レバーを徐々に握っていくと車輪が回転を始めます。
2. 作業速度は圃場の条件によって調節してください。自転車等と同様に、前後左右のバランスを保つには一定の作業速度になることが必要です。
3. 車輪が泥の中に埋まってしまい車輪が回らなくなってしまった場合は、すみやかに走行レバーを停止位置に戻し、持ち上げてスタート場所を変えるか、手押し式と同じように走行レバーを徐々に引き上げて車輪がゆるやかに回転する程度の速度で歩行して、着座スタートができる場所まで移動してください。
4. 本機が進み始めたら、両足を前方にのばし、足裏で水面を滑る感じで左右のバランスを取りながら作業をしてください。
5. 本機の進行方向は無理に修正せず、進みたい方向をまっすぐに見すえて走行してください。
   ※本製品は、左右にバランスよく着座すれば、車輪の方向に直進するように設計されています。
6. 水田内で作業する条を移動する場合は、溝切作業と同様に着座して行なうか、歩行式溝切機と同様に、歩行して移動することができます。
7. 運転中に異常な音、振動や異常な回転、走行部への石など異物のかみ込み等が生じた場合は、直ちにエンジンを停止させ点検してください。

7．点検・整備

7 - 1　点検・整備の目安

・お買い求め頂いた製品を調子よく安全にご使用いただくために､定期的に点検･整備を行なってください。
・エンジン部分はエンジンの取扱説明書を参照してください。

重　要

年単位および月単位の整備間隔については、実際の使用状況と経験から判断し、必要に応じて点検・整備の回数を増やしてください。

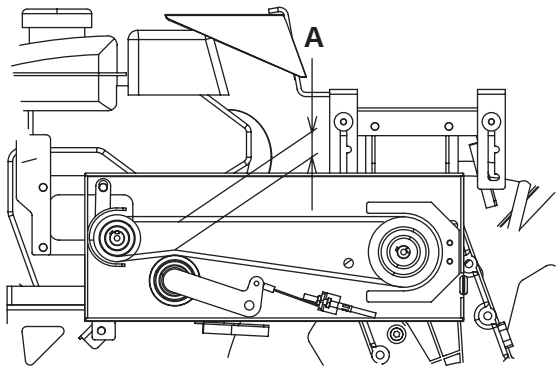
点検・整備個所	点検・整備内容	掲載ページ	毎回	毎月	毎年
ギヤオイル	点検	－			●
ネジ、ボルト、ナット類	点検／増し締め／交換	－	●		
テンションアーム	点検／調整	－		●	
走行ベルト	点検／調整	１８		●	

7 - 2　点検・整備要領

重　要

・ 作業が終了した後は、製品をよく清掃し常に最良の状態に点検・整備しておくことが、次回の作業を順調に進めるのに最も大切なことです。
・ ご不明の点については、お買い求めの販売店にご相談ください。

■ 走行ベルトの点検



・走行レバーが高速走行位置で、Ａ寸法が５mm以上あることを点検してください。５mm以下のときは交換してください。

7．点検・整備

7 - 3　故障診断表

故障内容	故障診断	原因	対策
走行できない	車輪は回転する	車輪ラグの変形、摩滅 プラウの調整不良 圃場整備不良	交換 調整 圃場の整備
	車輪が回転しない	車軸ピンの折損 ベルトのスリップまたは伸び ベルトケース内への泥水進入 減速機の破損 クラッチケーブルの調整不良	交換 交換 清掃およびシール ゴム交換 交換 調整
走行速度が遅い		車輪ラグの変形、摩滅 スロットルケーブルの調整不良 プラウの変形 プラウの調整不良	交換 調整 交換 調整
直進走行が困難	プラウ取付が曲っている	輸送時等の衝撃、圃場以外 での走行等 真直ぐに乗車していない プラウの変形 車輪ラグの変形 各部締付ボルトの緩み 本体構成部品の変形 車輪、フレームに泥の堆積	スペーサによる調整 またはフレーム交換 正しく乗車 交換 交換 増し締め 交換 清掃
プラウ持上げが重い		ベルトの連れ回り プラウに泥の堆積	ベルトガイド調整 清掃
溝が正しく切れない		プラウの変形 プラウの調整不良 圃場整備不良	交換 調整 圃場の整備

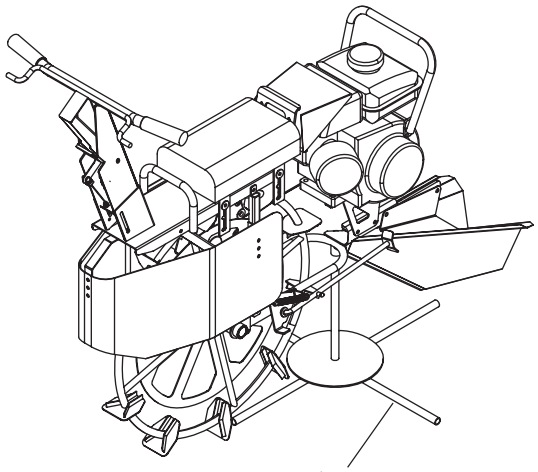
・点検・整備には専門的な知識が必要です。ご自分で点検・整備や故障対策ができない場合は、むやみに製品を分解しないで、お買い求めの販売店にご相談ください。
・表中に記載されていない故障の場合など、ご不明の点はお買い求めの販売店にご相談ください。
・補用品や消耗品は必ず純正部品または指定品を使用してください。他社部品あるいは指定品以外の部品を使用すると故障の原因となる場合があります。

7．点検・整備

7 - 4　長期保管(３０日以上)

⚠ 警　告

製品を保管するときは、必ず正立状態にしてください。
☆エンジンに燃料が残っていると、燃料が漏れ火災の原因となります。



スタンド
（オプション）

製品を長期間(３０日以上)にわたって保管する場合は、以下に示す保管の際の整備を必ず実施してください。

1．本書に定められた定期的な点検をしてください。製品のすべての部分を検査し、調節してください。スクリュ・ナット類が締まっているか確認し、ゆるんでいる場合は増し締めしてください。
   A. 必要ならば掃除をし、修理をしてください。
   B. サビ止めに、金属部分には薄く機械油を塗ってください。

2．エンジンの燃料タンク、キャブレタから燃料を抜きます。

3．製品が充分冷えて乾いてから、子供の手の届かないホコリの少ない乾燥した場所に保管してください。

4．プラウ、車輪などの変形を防ぐスタンド（オプション）の使用をおすすめします。

●製品や部品を廃棄するときは、販売店にご相談するか、自治体の指導に従ってください。

8．仕様

区分	項目		ＭＫＳ９８０Ｒ	ＭＫＳ９８０Ｒ－Ｙ
質量	（燃料除く）	ｋｇ	35	34
容量	燃料タンク	Ｌ	1.6	1.8
寸法	長さ	ｍｍ	1270	
	幅	ｍｍ	510	
	高さ	ｍｍ	1030	
エンジン	形式		空冷４サイクル単シリンダ	
	排気量	ｍL	98	99
	最大エンジン回転数	r/min	1800	1800
	アイドリング回転数	r/min	800	800
	キャブレタ形式		フロート式	
	スパークプラグ		ＮＧＫ　ＢＰ６ＨＳ	ＮＧＫ　ＢＰ５ＥＳ
	始動方式		リコイルスタータ	
	動力伝達方式		ベルトテンションクラッチ	
燃料			レギュラーガソリン	
車輪	外径	ｍｍ	625	
	幅	ｍｍ	70	
	ラグ数		10	
溝寸法	上辺	ｍｍ	170	
	下辺	ｍｍ	90	
	深さ	ｍｍ	120	

＊ この仕様は、予告なしに変更することがあります。

索　引

あ行

異常振動・異常音 ……6,7
後ハンドル ……12,14
エンジンカバー …… 10

か行

警告表示 ……3,4
高温部 ……7
高電圧部 ……7
梱包部品 ……9

さ行

シート ……13,17
車輪 …… 10
車輪ラグ …… 10
仕様 …… 22
シンボルマーク ……3
スタンド …… 10
走行レバー ……13,18

な行

燃料 …… 22
燃料給油（補給）…… 6,11
燃料タンクキャップ …… 11

は行

排気ガス ……6
ハンドル …… 13,14,17
プラウ ……11,16
分草板 …… 17
ベルトケースカバー …… 10
保証書 ……2

ま行

前ハンドル …… 12

ら行

ラベル ……4

株式会社 共立

東京都青梅市末広町1-7-2　〒198-8711　☎0428-32-6181

北海道共立エコー株式会社
札幌市厚別区大谷地東1-2-20　〒004-0041　☎011-891-2249(代)

東北共立エコー株式会社
仙台市若林区卸町東5-1-50　〒984-0002　☎022-288-0511(代)

東部共立エコー株式会社
青梅市末広町1-7-2　〒198-0025　☎0428-32-1091(代)

中部共立エコー株式会社
愛知県清須市西枇杷島町宮前1-39　〒452-0031　☎052-502-4111(代)

西部共立エコー株式会社
岡山市藤田566-159　〒701-0221　☎086-296-5911(代)

九州共立エコー株式会社
大野城市白木原5-3-7　〒816-0943　☎092-573-5361(代)

エコーレンテックス株式会社
青梅市末広町1-7-2　〒198-0025　☎0428-32-6777(代)

◎ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

X753-003 63 0
X753608-030 0　　0804A 0402 ES

© 2008 株式会社 共立　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。